

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 積水ハウス株式会社 九州南シャーマン支店

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・毎年「Value Report」を作成し、当社のグローバルビジョンである「わが家」を世界一幸せな場所にするための報告を実施しております。 ・人間愛という企業理念を掲げ、事業所内に掲示しお客様はもちろん、従業員、世界中の幸せに取り組みしております。 ・全体会議時には企業理念に基づいた従業員のあり方を上長より説明しております。									8	9									17												
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・当社では、「積水ハウスグループ企業倫理要項」を定め、グループの全従業員に徹底しております。 ・全社員へのコンプライアンス研修の実施、内部通報制度の活性化しております。																			16												
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●			・「積水ハウスグループ企業行動指針」、「積水ハウスグループ企業倫理要項」で、公務員や政治家との不適切な関係を排除し、適切な企業関係を推進すべきことを明記しております。 ・当支店では県内の公共事業を請負うことがございますが、その際は公正な取引しております。																			16											
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●			・ESG経営のリーディングカンパニーを目指す上で、取締役会の諮問機関である「ESG推進委員会」を設置し、2020年の発足以来、全社を挙げてESG活動に取り組んでおります。																				16										
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●			・知的財産の侵害を行わないよう、本社から事業所、事業所から社員への周知を徹底しております。例えば、外部の地図をお客様や取引先に使用する際に、支店の総務課、総務長のチェックを必ず行い知的財産を侵害していないか徹底的に調べております。								8.2	9										16											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●			・個人情報取扱規則のもと適切な管理で個人情報の取り扱いに努めております。Eラーニングにより、従業員の教育研修を実施するのももちろん、専任部署である「お客様情報相談室」を設置しております。																				16										
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●			・お客様へのアンケートの実施、オーナー様専用のサイトや情報誌の作成をすることで、満足度の向上に取り組んでいます。 ・取引先へは「ハウス会」や「協力会」などを設置し、働きやすい施工現場環境を構築しております。 ・地域社会へは、NPO法人への協力、小中学生への教育プログラムを実施しております。																			16	17										
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●																							17										
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																							16	17									
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●																								17									
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			・家を作る際の木材調達ガイドラインにて「フェアウッド」調達を優先することを宣言しました。FoE Japanをはじめとした業界関係者とのエンゲージメントを図りながら調達レベルの向上に取り組んでいます。	1	2																		17										
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「ヒューマンリレーション推進委員会」を設置し、グループ全体における人権問題の共有を実施しております。 ・「セクハラ・パワハラホットライン」を設置し、各事業所に男女一人ずつの相談窓口を配置しております。																						16.1	16.2	16.7							
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「安全衛生委員会規則」を定め、職場における安全と健康を確保し、快適な作業環境を形成しております。 ・毎月各事業所で「安全衛生委員会」を開催し、労働安全衛生の意識向上や改善に取り組んでいます。			3																			8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●			・有給休暇制度を試用期間、雇用形態にかかわらず20日と定めております。 ・社内での面談や資格に基づいた等級が全社員に定められ、同等級における基本給は男女間問わず同じです。																						8.5	10.2	10.3						
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●			・多様な働き方を推進するため、テレワークを制度化しております。 ・「スライド勤務」(7:00~11:00の間で個人ごとに勤務時間の繰上げ、繰下げができる制度)を採用し、家族の時間はもちろん自分のための時間を確保するために取り組んでいます。																							8.5	8.8	10.3					
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●			・「自律的なキャリア形成のサポート」を掲げ、定期的な上司とメンバーがキャリアについて話す「キャリア面談」を実施。面談を行った95%のメンバーが「上司に感謝、承認してもらえた」と回答しております。 ・資格取得を推進するために、資格取得祝い金制度を設けております。宅地建物取引士試験では合格すると16万円支給など、社員が資格を取得するモチベーション維持に貢献しております。																							8	9						
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●			・「幸せ健康経営」という名前のもと、従業員の幸せの向上に努めている。2021年6月より、外部アドバイザーとも連携。その結果、「健康経営優良法人(ホワイト500)」に4年連続で選定されております。 ・当支店でも多くの従業員が社内のウォーキングチャレンジに参加し、健康維持、向上に取り組んでおります。																								8	17					
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●			・大手住宅メーカーで初の5年連続「PRIDE指標」ゴールドの認定を獲得しました。 ・当社の障がい者雇用率は2023年1月末時点で2.97%です。 ・当支店でも誰もが働きやすい職場を作るために、各々に合わせた働き方を上長より提案しております。																									8.5	10.2	10.3	16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している。	●																												8	9.1	11	12		
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ITやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの革新に取り組んでいる。	●			・テレワークの制度化に伴い、セキュリティに十分に配慮した社用モバイルパソコンを貸与しております。 ・また書類の電子化を進め、場所を問わず働ける環境を整備しております。																									8	9.1	11	12		
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																														3	4	8	9

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・国内、海外の全ての工場でISO14001を取得しております。 ・環境関連法規制違反が発生した場合には、本社に届け体制になっております。(2022年度の違反なし)			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎月、本社の環境推進部へ事業所ごとの電力使用量やガスの使用量を報告することが義務付けられています。 ・当支店でも社用車の数を減らしたり、電動化率100%を推進しております。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・2008年に環境大臣より「エコファースト企業」の認定を受けています。それを実践すべく当支店でも備品を購入する際には環境に配慮した商品を選ぶように促しております。			2.4					7.2 7.3 7.a			12.4		13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・2001年から生態系に配慮した造園緑化事業「5本の樹」計画を実施。現在までの取組みと結果が認められ、2022年には「地球環境大賞」において最上位の大賞を受賞しております。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・2003年には各生産工場に「資源循環センター」を建設業界の中ではいち早く開設。廃棄物の発生抑制やリサイクルにとどまらず、住宅資材を長く使い続けられるように、アフターサービスやリフォーム事業にも注力しております。 ・当支店でもリノベーション事業を推進すべく、グループ会社と協力をしリノベーション見学会などを実施しております。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・無本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・土地の購入や販売代理契約に先立ち、独自の土壌汚染チェックシートを用いた事前審査制度を運用。汚染の恐れがある場合は、指定調査機関を交えた分析を行い、取引の妥当性を評価しております。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15				17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事業所で購入する消耗品については、環境に配慮した商品を選ぶように指示されています。毎月環境配慮商品の購入割合を本社へ報告しております。											9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●								6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7			13.1 13.3		15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、育て、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●		支店の従業員において、My箸やMyスプーンの持参によるプラスチック製品の使用削減や、Myバッグの持参によるレジ袋の使用削減により、海洋ゴミや海洋汚染の防止に取り組んでいます。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 積水ハウス株式会社 九州南シャームゾン支店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・総合住宅研究所や住生活研究所を設置し、品質向上や新技術の開発はもちろん、幸せなどの快適性能や環境分野等、多角的なテーマで最先端の研究開発を実施。研究開発費には95億円を投資しております。 ・当支店でも工事による監査が定期的に行われたり、竣工前には必ず外部検査を行うことでお客様に安全な建物を供給しております。			3.9					9		12.4												
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・「健康」「つながり」「学び」を軸にしたプラットフォームハウス構想の第一弾として、世界初の「在宅時急性疾患早期対応ネットワークHED-Net」を構築しました。住人の心拍数を把握することで異常を検知し、安否確認を行うシステムを開発しました。 ・当支店でもさらにユニバーサルデザインに基づいた環境整備に取り組んでおります。									9.1	10	11.7									17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●										7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●										7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		・人生100年時代の社会をアシストするために、住宅の間取り図と連動した直感的操作で、施設確認などの防犯上の活用や、熱中症アラート、外出先からのエアコン操作ができるシステムを開発しております。 ・当支店でもお客様へ建物提案する際、例えば電気自動車の充電ができる駐車場の設置を進めております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●																							17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・「Trip Base 道の駅プロジェクト」による地方創生事業を行っております。 ・当支店では、熊本地震より出会った益城町の小学生と今でも交流を図っており、従業員が参加しております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所ごとに防災グッズや食料の常備をしております。 ・社員携帯を用いた災害訓練の定期的な実施をしております。				4								11.5		13.1					16			
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4								10.2	11.5		13.1				16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・2004年に日本のハウスメーカーでは最も早く、水や食料を備蓄する設備に加えて、家庭用蓄電池と太陽光発電を備えた「省エネ・防災住宅」の販売を開始しました。 ・2011年には、停電時でも電気を使い続けられる「グリーンファーストハイブリッド」を発表しました。 ・当支店でも賃貸住宅のZEH化や事務所のZEB化率を向上すべく、お客様へは必ず提案を行っております。											9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4									8.6		10.2					17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4											8.5	8.6				17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2			4.3	4.4	4.5								8.6		10.2		12	13	14	15

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。